

まえぼるいせきしゅつどひん
前原遺跡出土品

【所在地】霧島市国分上野原縄文の森2-1 鹿児島県立埋蔵文化財センター
【種別】国指定重要文化財（考古資料）
【指定年月日】平成24年9月6日



本資料は、縄文時代早期前半の集落跡から出土した、多量の土器・土製品、石器の一括資料である。

土器は、南九州地域のみ分布する角筒土器が含まれ、造形的にも器形的にも他の地域・時期には見られない特徴的な一群となっているほか、縄文土器の型式変遷とその形態の変化を考えるうえで貴重な資料である。また、遺存状態の良好な個体も多く、九州における土器造形の到達点を示すものとして、極めて学術的価値が高い。